

支部 Newsletter

【北海道支部】

◎第86回日本英文学会年次大会の開催について

第86回日本英文学会年次大会が、2014年5月24日(土)・25日(日)の両日に、北海道大学で開催されることになりました。第86回大会は北海道支部が運営を担当します。大会開催に関する委員は以下のように決定されました(敬称略:五十音順)。

【開催校委員】大野公裕、奥聡、瀬名波栄潤、高橋英光(委員長)、竹内康浩、竹本幸博、野村益寛、宮下弥生

【開催支部委員】池内静司(北海学園大学)、上野誠治(北海学園大学)、岡崎清(札幌学院大学)、尾野治彦(北海道武蔵女子短期大学)、金井彩香(千歳科学技術大学)、菅原崇(岐阜工業高等専門学校)、十枝内康隆(北海道教育大学旭川校)、濱田英人(札幌大学)、本堂知彦(北海道教育大学札幌校)、森岡伸(札幌医科大学)、渡部あさみ(札幌大学)、この他北海道支部から1名。

大会終了まで当支部は非常に大きな責任と活発な参加が求められます。会員の皆様におかれましては、第86回大会に向けてご協力とご参加をお願いすることと存じます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

◎第58回大会予告

日本英文学会北海道支部第58回大会が、10月5日(土)・6日(日)の両日に、北海道大学人文社会科学総合教育研究棟(札幌市北区北10条西7丁目)において開催されます。詳細はこの統合プログラムをご覧ください。会員の皆様におかれましては、奮ってご参加頂ければと存じます。

◎電子メールアドレス登録について

北海道支部事務局では、会員の方々に電子メールアドレス登録のご協力をお願いしております。支部からの連絡は今後、原則として電子メールを通して行う予定です。まだ登録されていない会員、あるいはアドレスに変更が生じた会員におかれましては、速やかに事務局(hokkaido@elsj.org)にご連絡のほどよろしくお願ひ申し上げます。

◎事務局について

ご質問等ございましたら、下記事務局までお問い合わせください。

〒069-8555 江別市文京台11番地 札幌学院大学人文学部英語英米文学科

眞田敬介研究室内

日本英文学会北海道支部 事務局

[電話] 011-386-8111 (代表)

[メールアドレス] sanadak@sgu.ac.jp

[ホームページ] <http://www.elsj.org/hokkaido/index.html>

以上(文責 眞田敬介)

【東北支部】

◎第68回支部大会開催予告

第68回東北支部大会が、2013年11月23日(土)・24日(日)の両日に東北工業大学八木山キャンパスにおいて開催されます。詳細については、この統合プログラムをご覧ください。なお、懇親会については、10月上旬を目処に東北支部会員の皆さまにご案内を別送する予定です。

◎第68回支部大会での特別シンポジウムについて

今年度の支部大会において、11月24日(日)午後2時から、特別シンポジウムが開催されます。詳しくはこの統合プログラムをご確認下さい。この特別シンポジウムは、大学での授業における映像資料の使い方に関するもので、英文学分野のみならず、幅広い専攻分野の関係者に向けられたものです。皆様お誘い合わせの上ご来場下さい。

◎『東北英文学研究』第4号について

今年は6本の投稿がありました。7月6日の編集委員会にて投稿論文の審査を終え、審査結果が編集委員会の審査所見とともに投稿者に送られました。修正の上掲載可となった投稿論文の修正を8月31日まで受けつけ、その再審査が9月上旬に行われ、最終的に第4号に掲載される論文が決定されます。今号から、「私の一冊/研究ノート」のエッセイも掲載される予定です。

◎『東北英文学研究』第5号原稿募集

『東北英文学研究』第5号の原稿を募集していません。締切は2014年4月30日です。支部ホーム

ページ (<http://www.elsj.org/tohoku/>) にある投稿規程をご覧の上、事務局 (tohoku@elsj.org) 宛に奮ってご応募ください。支部ホームページより、論文のテンプレートとカバーレターをダウンロードしてお使い下さい。

【関東支部】

◎理事会報告

2013年6月9日(土)に日本女子大学目白キャンパスにて2013年度第1回理事会が開催され、次の事項が報告、審議されました。

【議事録承認】

【報告事項】

- 1) 支部長報告(本部理事会報告、審議依頼事項等を含む)
- 2) 新年度の各委員会委員、事務局体制について
- 3) 委員会報告(大会準備委員会／編集委員会)
- 4) その他

【審議事項】

1. 2012年度事業報告
2. 2012年度決算／2013年度予算
3. 監事選出について
4. 2013年度新規事業について(特に出版事業について)
5. その他

2013年7月27日(土)に日本女子大学目白キャンパスにて2013年度第2回理事会が開催され、次の事項が報告、審議されました。

議事録承認

【報告事項】

- 1) 支部長報告(2012年度決算／2013年度予算、監事について、HP理事会更新)
- 2) 事務局報告
- 3) 委員会報告(大会準備委員会／編集委員会)
- 4) その他

【審議事項】

1. 事業計画進捗状況について
2. その他

◎日本英文学会関東支部第7回大会(2013年度夏季大会)について

日本英文学会関東支部第7回大会(2013年度夏季大会)が、2013年6月22日(土)、明治大学駿河台キャンパス、リバティタワーにおいて行われました。

プログラムは以下のとおりです。

ワークショップ(ワークショップ1は12:15～13:45、2は12:15～13:15)

1. モダニズムにおける〈亡霊〉と〈声〉——ダブリンとプラハを中心に(1086教室)

(司会) 群馬大学教授 吉川 信
(講師) 成蹊大学准教授 桃尾 美佳
(講師) 早稲田大学教授 岡室 美奈子
(講師) 東京医科大学教授 城 眞一
(講師) 滋賀大学講師 川島 隆

2. “Daffodils”から見えるもの——(大学)英語教育における文学テキストのraison d'être(1075教室)

(司会) 東京大学教授 アルヴィ宮本なほ子
(発表者) 東京大学大学院 鈴木 哲平
河内 紀彦
山田 敏幸
中川 映里

研究発表(13:30～15:40)

第1室(1075教室)

13:30～14:30

Occultism had become the favorite sport of Britain's leisured classes—International PEN club in London とそのオカルト・コネクション

(司会) 埼玉大学准教授 大久保 譲
(発表者) 国士舘大学講師 目野 由希

14:40～15:40

英語教育における「文学」—New Horizonを読む「行為」からの一考察

(司会) 一橋大学准教授 河野 真太郎
(発表者) 実践女子大学准教授 土屋 結城
立正大学専任講師 伊澤 高志

第2室 (1076 教室)

13:30 ~ 14:30

『灯台へ』におけるナラティブ・モードの揺らぎ

(司会) 聖心女子大学教授 中川 僚子

(発表者) 慶應義塾大学講師 中村 祐子

14:40 ~ 15:40

亡霊譚としての「死者たち」—Re-reading “The Dead” as Ghoststory

(司会) 一橋大学教授 金井 嘉彦

(発表者) 早稲田大学大学院 小林 広直

第3室 (1084 教室)

13:30 ~ 14:30

機械装置と同期する人物たち—『シスター・キャリー』の身体運動

(司会) 東京家政大学講師 並木 有希

(発表者) 東京大学大学院 坪野 圭介

14:40 ~ 15:40

疑似全知の語り手と作者の消去—Truman Capote, *In Cold Blood* における語りの構造

(司会) 一橋大学教授 越智 博美

(発表者) 東京大学大学院 山崎 はずむ

シンポジウム (16:00 ~ 18:00)

シンポジウム 1 (1074 教室)

モダニズム再考—マクニース再評価の文学史的意義を考える

(司会) 東京大学教授 中尾 まさみ

(講師) 首都大学東京教授 高岸 冬詩

(講師) 専修大学教授 道家 英穂

(講師) 明治大学教授 辻 昌宏

シンポジウム 2 (1083 教室)

英文学教育の現在

(司会) 東京大学教授 山本 史郎

(講師) 明治大学准教授 梶原 照子

(講師) 明治学院大学専任講師 貞廣 真紀

(講師) 早稲田大学教授 冬木 ひろみ

懇親会 (18:30 ~ 20:30)

会場 明治大学紫紺館 4階会議室

◎『関東英文学研究』第6号投稿の結果

5月末日に締切り、今年は23本の投稿がありました。7月6日の編集委員会にて投稿論文の審

査が行われ、結果は委員会の審査所見とともに投稿者に送付されました。8月31日までに修正のあった投稿論文と懇談論文の審査が行われ、最終的に第6号に掲載される論文、「研究の未来」のエッセイなどが決定されます。

以上

(文責 関東支部事務局長 佐藤和哉)

【中部支部】

◎事務局移転

2013年4月から事務局が中京大学に移転しました。新事務局メンバーと住所は下記のとおりです。

支部長 梅正行 (中京大学)

副支部長 松本三枝子 (愛知県立大学)

事務局長 武井暁子 (中京大学)

事務局長補佐・HP担当 杉浦清文 (中京大学)

書記 三上傑 (中京大学)

466-8666 名古屋市昭和区八事本町 101-2 14号館
中京大学国際教養学部 武井研究室
TEL: 052-835-7111 (代表) FAX: 052-835-7183
E-mail: chubu @ elsj.org
http://www.elsj.org/chubu

任期は2015年3月までです。よろしくお願ひ申し上げます。

◎支部長挨拶

長い間、中部支部の事務局を担ってきた名古屋大学から、90年代より、愛知県立大学、愛知大学、信州大学、金沢大学、南山大学と事務局が移り、2013年4月より中京大学が事務局をお引き受けすることになりました。

中部支部は、福井、石川、富山、愛知、長野、岐阜、三重、静岡と八県におよぶ広い地域に会員をもち、その研究経験も見事なまでに多種多様です。

ラフカディオ・ハーンの愛した焼津を散策しながら、ヨーロッパ文化への考察を深める。三四郎が上京の途中で下車した名古屋、その西口のホテルでヨーロッパの旅先の不便なホテル生活を思い起こす。中野重治の『梨の花』の良平が雪に足を

とられた福井、丸岡の地で、ヨーロッパの雪を思う。居住地、勤務地、旅先といずれのかたちをとっても、八県を訪ねるといろいろな連想がわきます。その豊かな連想は、ひとつ文学のみならず、英語学、言語学のそれぞれの分野の成果に結びつきます。

会員の研究成果の発信のため、中部支部のもつ論文発表の場、そしてシンポと研究発表からなる大会の場を支えるべく、役員一同、尽力いたす所存ですので、どうかよろしくお願い申し上げます。
(榎正行)

◎ HP 移転とリニューアル

支部 HP が移転とリニューアルしました。url は前述のとおり、<http://www.clsj.org/chubu> です。規約、支部大会、『中部英文学』投稿等重要な情報を随時掲載しますので、定期的に関覧お願いいたします。

◎ 『中部英文学』第 33 号投稿論文査読結果

8 件の投稿がありました。7 月 6 日（土）に編集委員会が開催され、掲載可 2 件、不可 2 件、再審査 4 件と決定しました。8 月 31 日までに修正があった論文の審査が 9 月上旬に行われ、掲載論文を最終決定します。

◎ 中部支部学術振興基金設立

このたび、中部支部学術振興基金を設立することになりました。本基金から後述の優秀論文賞受賞者への賞金を支出します。詳細は HP に掲載します。

◎ 中部優秀論文賞と中部新人優秀論文賞創設

2014 年度から『中部英文学』投稿論文を対象に中部優秀論文賞と中部新人優秀論文賞を創設することになりました。詳細は HP と『中部英文学』第 33 号に掲載します。

◎ 『中部英文学』投稿規定改定

第 34 号から投稿規定が改定されます。詳細は HP と『中部英文学』第 33 号に掲載します。

◎ 第 65 回支部大会

10 月 5 日（土）・6 日（日）に椋山女学園大学星ヶ丘キャンパスで第 65 回支部大会を開催します。1

日目は特別講演、招待発表 2 件を含む 21 件の研究発表、懇親会があります。2 日目は英語圏文学、演劇、言語学のシンポジウムがあります。

詳細はプログラムをご覧ください。大勢の皆様のご来場をお待ちしております。

◎ 会員情報更新

氏名、住所、メールアドレス、勤務先、職位等の異動があった方は速やかに英文学会本部事務局と当事務局にご連絡お願い申し上げます。

◎ メールアドレス登録のお願い

経費削減と効率化のため、当事務局では支部大会出欠確認などの会員の皆様への連絡をメールで行うこととし、メールアドレスの登録をお願いしております。未登録の方は件名をメールアドレスとし、ご氏名、所属先、職位を事務局までメール送信お願いいたします。いただいた情報は中部支部の業務にのみ使用します。

以上
(文責 武井暁子)

【関西支部】

◎ 機関誌『関西英文学研究』第 7 号（『英文学研究支部統合号』第 6 号）について

来年 1 月の発行に向けて、現在編集作業中です。本年度の編集委員は、【イギリス文学部門】川島伸博（龍谷大学）、小杉世（大阪大学）、野口祐子（京都府立大学）、廣野由美子（京都大学）、山田雄三（大阪大学）、横山茂雄（奈良女子大学）、吉川朗子（神戸市外国語大学）、【アメリカ文学部門】木原善彦（大阪大学）、新関芳生（関西学院大学）、野間正二（佛教大学）、若島正（京都大学）、【英語学部門】梅原大輔（甲南女子大学）、岡田禎之（大阪大学）、加藤正治（大阪大学）、山口美知代（京都府立大学）の計 15 名（敬称略）、委員長は新関芳生、副委員長は廣野由美子の各氏です。

投稿論文には全部で 19 編の応募があり、掲載論文と奨励賞論文について現在審査中です。特別寄稿論文執筆者は今西雅章（帝塚山学院大学・誉）、丹羽隆昭（関西外国語大学）、瀬戸賢一（佛教大学）の各氏、また書評「私の一冊」執筆者は圓月勝博（同志社大学）、金澤哲（京都府立大学）、寺田寛（大阪教育大学）の各氏を予定しています。

なお、5月と6月に開催された編集委員会では、これらに加えて次の事項についても審議しました。

1) 投稿規定改定

支部統合号の電子化に合わせ、また字数制限のルールを明確化するために、投稿規定を一部改定しました。詳細については日本英文学会関西支部ホームページの「機関誌」をご覧ください。

2) 編集委員会の構成人数について

投稿論文の増加など昨今の傾向を鑑み、イギリス文学部門は前年度編集委員長残留制度を廃止した上でなお構成人数を7名に据え置くこと、アメリカ文学部門は現在の4名から5名に増員すること、英語学部門については当面4名のまま様子を見ることを決定しました。

◎第8回支部大会について

4月と7月に大会準備委員会を開催し、目下準備作業中です。本年度の準備委員は、【イギリス文学部門】石塚裕子（神戸大学）、川口能久（立命館大学）、木村茂雄（大阪大学）、三浦誉史加（大谷大学）、【アメリカ文学部門】金澤哲（京都府立大学）、白川恵子（同志社大学）、【英語学部門】五十嵐海理（龍谷大学）、富永英夫（武庫川女子大学）、【開催校委員】福本宰之（龍谷大学）の計9名（敬称略）、委員長は石塚裕子、副委員長は木村茂雄の各氏です。

プログラムについては本誌をご覧ください。

◎持ち回り理事会について

6月にメール審議による持ち回り理事会を開催し、次の事項を決定しました。

1) 講演会補助事業

日本英文学会関西支部では、英米文学・英語学・英語教育および関連領域に関する講演会の補助を行います。詳細については日本英文学会関西支部ホームページの「講演会補助事業」をご覧ください。

2) 学会発表補助事業

日本英文学会関西支部では、日本英文学会全国大会で発表をする大学院生（支部会員）に対し、旅費等の補助を行います。詳細については日本英文学会関西支部ホームページの「学会発表補助事

業」をご覧ください。

3) 日本英文学会関西支部規約改定

役員の任期、理事および支部長選出の方法について詳細を定めました。詳しくは日本英文学会関西支部ホームページの「規約・役員」をご覧ください。

◎事務局

本年度の事務局は下記にて運営しております。

〒662-8501

兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155

関西学院大学文学部英文学研究室

日本英文学会関西支部事務局

電話：0798-54-7247

電子メール：kansai@elsj.org

ホームページ：<http://124.146.197.139/app-def/S-102/kansai2/>

（文責：横内一雄）

【中国・四国支部】

◎新役員について

2013年4月から、新田玲子が支部長に、高橋渡が副支部長に、川島健が事務局長に就任しました。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

◎『英文学研究支部統合号』の電子掲載化について

来年から『英文学研究支部統合号』が国立情報科学研究所電子レポジトリ（CiNii）上に電子掲載される予定です。現在、審査、編集中である第六巻に論文を投稿なさった会員の方にはその旨をお伝えしました。また第一巻から第五巻に論文が掲載された支部会員の皆さんには電子化掲載の許諾の可否を伺っている最中です。

◎中国四国支部第66回大会準備委員会報告

第66回大会準備委員会を2013年6月1日（土）に広島大学で開催し、研究発表等のプログラム、大会運営に関して協議しました。

◎学会誌編集委員会

『中国四国英文学研究』第10号（『英文学研究支部統合号』第六巻）の編集委員会を7月14日（日）に県立広島大学広島キャンパスで開催し、5篇の

投稿論文の一次審査を行い、1篇を再審査、4編を掲載不可としました。

◎中国四国支部第66回大会期間中における保育サービスの実施

昨年度の大会に引き続き、今大会期間中にも、希望者に対して、保育サービス（有料）を行う予定です。詳しくは、9月中旬に支部ホームページに記載いたします。

以上（文責：新田玲子）

【九州支部】

◎九州支部ホームページについて

日本英文学会九州支部のホームページ (<http://kyushu-elsj.sakura.ne.jp/>) には、『九州英文学研究』投稿規定、支部大会関連情報、評議会・理事会や編集委員会の議事録その他の重要な情報が掲載されています。積極的に御活用いただければ幸いです。

◎機関誌『九州英文学研究』第29号（『英文学研究支部統合号』第5号）が刊行されました。イギリス文学2編、アメリカ文学4編、英語学2編、計8編の論文が掲載されました。そのうち、英語学の論文が若手研究者に贈られる「奨励賞受賞論文」に選ばれ、第65回九州支部大会の開会式で、賞状と副賞が九州支部長太田一昭氏より授与されました。

◎機関誌『九州英文学研究』第30号（『英文学研究支部統合号』第6号）について

来年1月の発行に向けて、大橋 浩編集委員長（産業医科大学、英語学）、鶴飼信光副編集委員長（イギリス文学、九州大学）、小谷耕二副編集委員長（アメリカ文学、九州大学）を中心に、【イギリス文学部門】太田一昭（九州大学）、小林潤司（鹿児島国際大学）、木原謙二（北九州市立大学）、宮原一成（山口大学）、村里好俊（熊本県立大学）、【アメリカ文学部門】大島由紀子（福岡大学）、高橋勤（九州大学）、早瀬博範（佐賀大学）、山里勝己（名桜大学）、【英語学部門】登田龍彦（熊本大学）、西岡宣明（九州大学）、向井 毅（福岡女子大学）、山田英二（福岡大学）の各編集委員、及び、今回の外部審査委員として、イギリス文学1名、アメ

リカ文学2名が掲載論文に関して、また優秀賞論文・奨励賞論文について査読・審査しました。

審査の結果、投稿論文11篇（イギリス文学4篇、アメリカ文学6篇、英語学1編）のうち、掲載可2篇、再審査2篇、掲載不可7篇となりました。再審査の2論文は、一定の修正期間を経て再提出されたものを改めて審査して、掲載可能かどうかを決定します。また、慎重な審議の結果、今回は、優秀論文賞・奨励論文賞は、いずれも該当者がいませんでした。

なお、8月3日に開催された編集委員会では、次の事項についても審議・決定しました。

- 1) 支部大会「招待発表者」に対して、『九州英文学研究』への投稿を奨励すること。
- 2) 支部大会シンポジウムの講師の方々に対して、編集委員が聴いて評価に値すると考えた場合には、1)と同様に、『九州英文学研究』への投稿を奨励すること。

◎第66回（2013年度）支部大会について

第66回支部大会は、2013年10月26日（土）、27日（日）の両日、鹿児島国際大学（鹿児島市）で開催されます。「招待発表者4名」を加えた27名の個別発表、3部門のシンポジウム、「イギリス文学『めぐり逢う幽霊たち——近代英文学と口承の伝統』」（司会、木原 誠）、「アメリカ文学『アメリカ文学とお金』」（司会、下條恵子）、「英語学『談話と統語構造とのインターフェイスを求めて——例外的文法現象とフェイズ理論』」（司会、西岡宣明）、及び、特別講演「柴田元幸東京大学大学院教授『アメリカ新聞漫画の黄金時代』」が実施されます。

支部大会の詳細は、支部ホームページでご確認ください。

◎支部事務局

平成25-26年度の事務局は下記にて運営しております。

〒862-8502 熊本市東区月出3丁目1番100号

熊本県立大学文学部英語英米文学科

村里好俊研究室内

TEL (096) 321-6616 FAX (096) 383-3496

E-mail : murasato@pu-kumamoto.ac.jp

HP : <http://kyushu-elsj.sakura.ne.jp>

支部長・日本英文学会理事	村里 好俊
日本英文学会評議員	鵜飼 信光
『九州英文学研究』編集委員長	大橋 浩
副支部長	三木 悦三
事務局長	難波美和子
事務局長補佐	水尾 文子
事務局長補佐	村尾 治彦
事務局長補佐	坂井 隆

以上（文責：村里好俊）

2013年度 支部大会資料統合版

平成 25 年 9 月 15 日発行

編集・発行 日本英文学会

代 表 者 佐々木 徹

印 刷 所 モリモト印刷株式会社

発 行 所 一般財団法人 日本英文学会

東京都新宿区神楽坂 1-2

研究社英語センタービル (〒162-0825)

電話/FAX (03)5261-1922

振替 00130-8-49740

© 一般財団法人 日本英文学会 2013
